

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月18日(火)に実施した「令和5年度全国学力・学習状況調査」について、かすみがうら市の児童生徒の傾向をお知らせいたします。

### 【全国学力・学習状況調査の目的】

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図り、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。

### 【調査の対象】

第6学年及び第9学年の全児童生徒

### 【調査の内容】

#### ○教科に関する調査

小学校(国語, 算数) 中学校(国語, 数学, 英語)

#### ○質問紙調査 学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面などに関する内容



### 【結果の概要】

各教科及び質問紙調査について、かすみがうら市の結果として特に良かった点と、特に課題が見られた点についてお知らせします。(特に良かった点○, 特に課題が見られた点●)

### 【国語】

#### 小学校

- 〔知識及び技能〕における、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての設問において、正答率を向上させることができました。
- 昨年度の課題となっていた〔思考力、判断力、表現力等〕における「書くこと」について、粘り強く設問に取り組むことができるようになり、無答率を低下させることができました。
- 終盤の問題では、県や国と比較して、無答率が約2倍でした。与えられた時間の中で情報を処理し、考えをアウトプットすることに時間がかかり、最後の問題までたどり着くことができないことに課題がありました。

#### 中学校

- 全般的に無答率が低下し、設問に粘り強く取り組むことができるようになってきました。
- 歴史的仮名遣い等、〔知識及び技能〕における正答率に向上が見られました。日常の授業で、基礎・基本的な学習内容を着実に定着させるための学習支援が成果につながりました。
- 与えられた複数の条件の下で、適切に自らの考えをまとめていくことに苦手意識をもっている生徒が多いことが予想されます。
- 文脈に即した漢字の書字に関する設問の正答率が低いという結果でした。普段の授業の中で、

アウトプットにおいて1人1台端末を活用するだけでなく、鉛筆等を使用し、実際に書字をする機会を確保して、書字の力をつけていきます。

## 【算数・数学】

### 小学校

- 〔数と計算〕の領域において、日常の事象における場面を想像し、目的に合った数の処理の仕方を考える設問については、概ね満足できる状況です。
- 平行であることが具体的に示されていない複数の四角形について、それらの形の定義を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題が見られました。示された四角形を台形と捉えることはできているが、台形について向かい合った角の大きさや辺の長さが等しいと捉えていると考えられます。
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することに課題が見られました。無答の割合が非常に多く、例示された文章から、条件に合わせて変えるところと、そのままにするところが読み取れていないと考えられます。

### 中学校

- 問題場面における考察の対象を明確に捉え、数と整式の乗法の計算をすることは、概ね満足できる状況です。
- 〔データの活用〕の領域において課題が見られます。不確定な事象についてデータに基づいて考察する場面において、累積度数の意味を理解することが不十分でした。また、複数集団のデータ分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することが不十分であった回答が多く見られました。図から読み取れる内容について、多様な見方で説明する力を身につける指導を充実します。

## 【英語】

### 中学校

- 〔読むこと〕の領域において、事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択することは、概ね満足できる状況です。
- 〔書くこと〕の領域において、学校生活の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書くことは、概ね満足できる状況です。
- 社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題が見られました。自分の意見を書く際に、なぜそのように考えたのかという理由を、英文の書き手の意見を踏まえて書くことに課題があると考えられます。どのようなことを書けば理由になるのか理解できていない、あるいは、理由を書くために必要な表現を身に付ける指導を充実します。

## 【質問紙調査】

### 小学校

- 「自分にはよいところがある」「先生は、あなたのよいところを褒めてくれている」と回答した児童の割合は、県や国の割合を大きく上回りました。
- 「算数の勉強が好き」「算数の勉強は大切である」と回答した児童の割合は、県や国の平均を上回りました。
- 学校の授業以外での1日あたりの勉強時間は、県や国の平均よりも短い結果でした。
- 「今まで受けた授業の中で、自分の意見をまとめたり、工夫して自分考えを発表したりすることに積極的に取り組んでいた」と回答した児童の割合は、3割未満でした。

### 中学校

- 「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒は、96%を超えました。
- 「国語の勉強が好き」「国語の勉強は大切である」と回答した生徒の割合は、県や国の平均を上回りました。
- 新聞をほとんど読んでいない生徒は9割以上で、県や国の割合よりも大きい結果でした。
- 本を読むことは好きであるが、実際に本を読んでいる時間は少ないという傾向がみられました。

### 【まとめ】

※全体的な傾向としては、基礎的・基本的な内容(漢字を書くこと読むこと, 計算問題を解くこと)については概ね満足できる傾向にあります。活用することや表現することに課題が見られます。自分の考えを工夫して表現する等の各教科の指導の充実を一層図ってまいります。

※小学校は、朝食を食べる、起床・就寝時間が一定など規則正しい生活習慣の身に付いた人ほど、国語と算数の正答率が高い傾向が見られました。また、中学校は、読書が好きな生徒ほど正答率が高い傾向が見られました。

各ご家庭のご協力が、よい結果につながっています。  
今後とも、引き続きご家庭でのお声かけ等をよろしく  
お願いいたします。



### 【留意点】

※この調査において測定できるのは学力の特定の一部分、学校における教育活動の一側面であり、学力の全てを評価するものではありません。